

# シユクル通信

## 2021年10月号

【編集・発行 vol. 84】  
(株)ボイスクリエーションシユクル  
一般社団法人日本声磨き普及協会  
発行責任者 佐藤恵  
令和3年10月1日

## SDGs を軸としたコミュニケーション

2015年9月に国連でSDGsが国際社会共通の目標として採択され満6年が経ち、日本では、政府を中心に企業・自治体・各種団体・個人によって、SDGsへの取り組みが進められてきていますね。

「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」に盛り込まれたSDGsの17の目標を表すカラフルなアイコンをよく目にしますし、SDGsピンバッジを着けるビジネスマンも増えています。企業でキャンペーンを行ったり、メディアで特集が組まれたり、SDGsという言葉が私たちの生活にも少しずつ着実に広まってきていることを実感しますね。とりわけ、将来を担う若い世代のSDGsへの関心の高さがうかがえます。

電通 Team SDGs が2020年に実施した「第3回SDGsに関する生活者調査」によりますと、学生（小学生から大学生までを含む）の45.1%が、「SDGs」という言葉を認知しているそうです。特に10代男性は2019年の前回調査の28.9%から55.1%、20代女性は9.3%から31.7%と、急激に上昇。

日本の若者の関心度や認知度が高いということは明らかです。中学や高校の英語の授業では、環境問題やフェアトレード、気候変動等を題材にした英文を読み、地理の授業では、貧困、多文化共生、格差などについて学びます。

小学校では2020年度から、中学校では2021年度から、高校では2022年度から「新学習指導要領」が実施されますが、今回の改訂で持続可能な社会の創り手の育成が明記。

小学校の家庭科や道徳、中学校の社会、理科、技術・家庭の教科書に、持続可能という言葉が登場。

若いうちからSDGsに関する知識を、知らず知らずのうちに学校で学ぶ環境が整えられ、世界共通の目標にチャレンジする地球人が育っていった欲しいものです。

さらに、SNSやインターネットを通じて、社会的課題に接触する機会が増えていますから、生活の中でも興味を持つ若者も増えることでしょう。大人たちもうかうかしてられません！

こうして彼らは商品やサービスを選ぶ際に、就職先の選択に、様々なシーンで培ったSDGsの感覚が判断材料となっていくことが当たり前になっていくことでしょう。

国内の大手有力企業210社を評価する「企業版SDGs調査2020」においても、SDGsへの取り組む姿勢と企業好感度には相関性が見られます。SDGsの評価が50位以内の企業は、平均と比べて、好感度が約35%高いことが明らかになっています。SDGsに取り組む企業は、若者から好印象を持たれている！

さて、企業側の受け止めは？



コロナ禍の社会不安の高まりとともに、企業としての向き合い方や姿勢がこれまで以上に問われる昨今、社内の資産を活用し、事業を通じて社会にどう貢献できるかを考える際に、向き合うべき指標が整理されているのがSDGsです。

企業がSDGsに取り組み、その意義を社内に伝え共通理解を広めることが始めの1歩。そしてそれらの情報発信を行い社会にわかりやすく示していく、さらには社会との対話を通して共感を得るまでに。こうした一連の社内・社外に対するコミュニケーションを怠らない努力が今後重要になってくるでしょう。

SDGsを軸としたコミュニケーションが新たなパートナーシップを創出し、未来のビジネスの芽にいかにつなげていくか。持続可能な事業運営の在り方を考えてみませんか。（裏面に続く）

### 【2021年版世界のSDGsランキング（165カ国）】

（出典：Sustainable Development Report 2021）

- 1位：フィンランド
- 2位：スウェーデン
- 3位：デンマーク
- 4位：ドイツ
- 5位：ベルギー
- 6位：オーストリア
- 7位：ノルウェー
- 8位：フランス
- 9位：スロベニア
- 10位：エストニア



- 18位：日本
- 32位：アメリカ
- 46位：ロシア
- 57位：中国
- 120位：インド

# 声のチカラで持続可能な世界の実現を目指す！

## 【脱 SDGs ウォッシュ！】

SDGs を軸としたコミュニケーションで問題になってくるのが「情報の信頼性」です。もし企業の提供する情報が不正確であった（SDGs ウォッシュというそうです）としたら、商品選択の判断や投資の判断に誤りが生じてしまい、持続可能な社会の実現を阻むことになりかねません。

私たちが SDGs ウォッシュにならず、信頼できる情報を提供するための、注意すべきポイントは以下の通りです。

電通が発行する「SDGs コミュニケーションガイド」によりますと

1. 根拠がない、情報源が不明な情報を避ける。
2. 事実よりも誇張した表現を避ける。
3. 言葉の意味が規定しにくいあいまいな表現を避ける。
4. 事実と関係性の低いビジュアルを用いない。



これらを参考に貴社の情報提供・発信のあり方を見直して頂けたら幸いです。

## 【外務省「JAPAN SDGs Action Platform」に SDGs の取組事例として掲載されました!!】

一般社団法人日本声磨き普及協会では、日頃から「声のチカラで日本を元気に！」という理念のもと明るい社会創造を目指すべく、声磨きに取り組んでおります。

この度、弊協会が取り組む SDGs の活動が外務省ホームページに「JAPAN SDGs Action Platform」取組事例として紹介されました。



### ★健康声磨き®★

新時代のヘルスケア「喉を鍛える健康声磨き®」を通してシニア世代の心と身体の健康づくりを応援！



### ★100万人の声磨き®フェスティバル★

10年後には日本人の1%の100万人が声を磨いて、いきいき長寿社会が実現されることを願って。



### ★学校教育でのカリキュラム★

学校で習わない話し方の常識打破。自分の言葉で話せるコミュニケーション豊かな地球人に！



### ★女性向け話し方教室★

女性活躍が進んでいるにもかかわらず、会社組織の中で男性には理解してもらえない、様々なコミュニケーションの顕在化されない女性特有の課題に特化



### ★働く女性のスピーチコンテスト★

女性一人ひとりが勇気と自信を持ってウーマノミクスの主役となり輝き放たれるように！

### ★声磨きインストラクター養成★

話し方スキルを活かした声磨き®の先生として社会貢献できるセカンドキャリア形成を支援し、「価値を提供する」という働き方でやりがい・生きがいを感じる豊かな生き方とパートナーシップを創出。

**声のチカラで持続可能な世界の実現を目指しています！**



(株)ボイスクリエーションシュクル <https://vcsucre.com>

(一社)日本声磨き普及協会 <https://koemigaki.com>

〒330-0062 埼玉県さいたま市浦和区仲町 1-15-1 エスプリ浦和 103/201  
TEL: 048-829-9624 FAX: 048-829-9634 メール: info@vcsucre.com

